事例No.	1554
公表年度	R3
団体の属性	町村
団体名	奈良県田原本町

事例区分	DX

タグ	・人材確保・育成 ・ICT ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	自治体DX推進

事例内容・タイトル

外部人材の活用に当たっての工夫

出典

自治体DX推進手順書参考事例集

事例：外部人材の活用に当たっての工夫【奈良県田原本町】

Point

- デジタル化を力強く推進するために、外部の専門家の視点を入れる
- 外部人材を活用するに当たって、周到な事前準備や人材への配慮を行っている

概要

○ 町では町長をはじめとして、職員にデジタル化の必要性を認識してもらい、行動変容を促すために外部のデジタル人材の活用を決断。

○ 外部人材を活用するに当たっては、自団体のニーズに合う人材とのマッチングが重要。候補者との面談において、現状の町の課題やデジタルを活用して実現したいことを伝え、徹底的に意見を交わすことで、ミスマッチを防いだ。

○ 各種業務についてデジタル化の適・不適を現状把握・調査分析を経て明らかにし、専門家の意見を取り入れながら、出来るところから着手するようにした。

田原本町における外部人材活用の6つのポイント

1.**【採用する目的を明確にする】** ・・・ 無理に外部人材を活用するのではなく、活用の目的によって決める。場合によっては、内部人材の発掘が可能な場合もある。

2.**【丸投げしない】** ・・・ 要望だけを伝えるのではなく、自治体が抱えている課題や取り組みたい施策について、言葉のキャッチボールを重ねて具体化し、共通理解を深めることで、オーバースペックな取組みを回避できる。

3.**【常勤にこだわらない】** ・・・ 相談のタイミングや業務の集中する期間があることを考慮し、あえて常勤を求めていない。

4.**【外部人材に過剰な期待をしない】** ・・・ ICTを活用してもすべての課題解決ができるわけではないことを常に意識しておく。

5.**【外部人材を孤独にさせない】** ・・・ 外部人材は慣れない環境で孤立しがちであり、仲間意識を醸成して協力し合うことが大切。クッション役となる職員がいることで、外部人材の孤立や内部人材との軋轢を回避できる。

6.**【企業のメリットも尊重する】** ・・・ 公正性・中立性に反しない範囲で、企業のメリットを尊重し、win-winの関係を築く。

【参考情報】 人口：3.2万人、 関連資料：月刊J-LIS 令和3年6月号

類似の取組を行っている団体：岡山県瀬戸内市（地域活性化起業人制度）、広島県安芸太田町（デジタル専門人材派遣制度）